

よみがえれ霞ヶ浦

土浦市立神女小学校

4年2組

中川 樹

～ぼくたちにできる霞ヶ浦の汚染防止～

① 石研究の動力機

以前霞ヶ浦の湖上体馬舎に参観したときに、霞ヶ浦の水は汚れていると聞いたが、どうしてなのかわかると調べてみたくなった



←水道水と比べると霞ヶ浦の水は茶色にこびっている
霞ヶ浦に流れ込む新川の水もこびっていた↓



- ・霞ヶ浦とはどんなところか
- ・どうして汚れてしまったのか
- ・どうすれば元の姿にもどすことができるのか

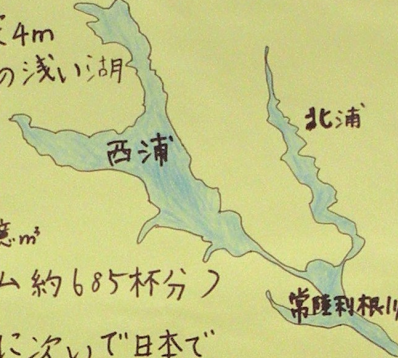
② 霞ヶ浦とはどんなところか

茨城県南東部にあり、西浦・北浦・常陸利根川の3つの水域から成り立っている

平均水深4m
最大7mの浅い湖

水量8.5億m³
(東京ドーム約685杯分)

琵琶湖に次いで日本で2番目に大きい湖(220km²)



③ 霞ヶ浦はどのようにしてできたか

約6000年前の縄文時代に海水が流れこんでできた入り江が霞ヶ浦のほじまり
その後、さぬ川や小貝川などの大きな川が土砂を運び、入り江の口をせき止めて、ほぼ今のようになったのは約1500年～2000年前といわれている
その後もう少しづつ変化をし、江戸時代には治水工事が行われ、現在の姿になった



④ 汚れはいつと頁から?

昭和30年頃まではきれいで海水浴場もあった
昭和40年頃～周辺の人口増、その人々の生活排水、工場、畜産などの排水が河川を通じて流れ込む

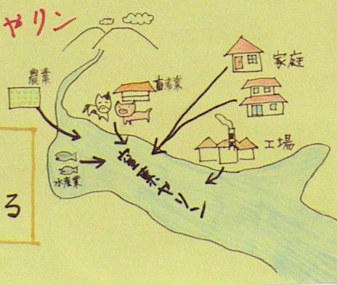
それら排水に含まれる有機物質、窒素、リン

・霞ヶ浦の底の泥から溶け出す窒素、リン

→植物プランクトンの栄養源

↑増えすぎると...

水の透明度が低くなる
腐敗臭で悪臭が発生
水中の酸素が不足して魚がすめなくなる



⑤ 霞ヶ浦をよみがえらせるために

霞ヶ浦の水はぼくたちの生活、工業、農業用水などに利用されている
かけがえのない霞ヶ浦を守るために

「霞ヶ浦水質保全条例」(茨城県)

- ・生活排水 → 下水道を整備してきれいに河川に流す
- ・工場排水 → 排水の基準を決めて管理する
- ・農業、畜産 → 肥料の使い方を決めたり、家畜の排泄物の処理や利用を推進する など...



霞ヶ浦には56もの河川が流れ込んでいて、その周辺には約96万人が生活している
流域に住む人たちが、上流から下流にかかわらずお互いに協力し合うことが大切

⑥ ぼくたちにできること

周辺に住む1人1人が霞ヶ浦の大切さを考え、県・市町村や団体と力を合わせて取り組んでいくことが大切

霞ヶ浦のためにぼくがやっていたこと、思うこと

- ・霞ヶ浦水質浄化の体験学習や水質調査に参加して同じ考えの仲間を増やす
- ・環境科学センターでもらったパンフレットの家で自分でできる霞ヶ浦を汚さないための対策を実践する。

みんなの1つ1つの行動の積み重ねが霞ヶ浦をよみがえらせる大きな力になる。

川や湖にゴミを捨てない!

食べ物・飲み物は必要な分だけを消費して残さないように!

食器洗いの時はすすぎ水を拭き取ってから!



三角コーナーのネットは目の糸田かいのものを使う!

庭木や花菜園への肥料や農薬は使わない!

家でできること

米のとぎ汁は栄養たっぷりなので、植物の肥料に使う!

食用油は使い切るか紙などで拭いて捨て、決して捨てない!

水路や側溝などを定期的に掃除す!

洗たく洗剤は適量を守る!

くすりネットを保って糸田! など細かいゴミを流さない!

風呂の残り湯は洗たく掃除に使う!

シャワー・ボディーソープは使いすぎず適量を守る!

